

# 首都直下地震

## 防災・減災特別プロジェクト

—3. 広域的危機管理・減災体制の構築に関する研究—



# 1-a 一元的危機管理対応体制の確立

富士常葉大学大学院環境防災研究科 重川 Group

研究テーマ：一元的危機管理対応体制の確立

## 迅速かつ公正な建物被害認定調査手法の確立

### 建物被害認定調査研修システムの開発

【同時平行で進められる二つの調査】

課題1：住民が混同し被災地の混乱を招く

課題2：専門家の不足による調査の遅延

・小千谷市の被災建物の被災状況データ化  
・被災建物の損害割合の正解算出

### 応急危険度判定調査との情報共有化手法の検討

【同時平行で進められる二つの調査】

課題1：住民が混同し被災地の混乱を招く

課題2：専門家の不足による調査の遅延

図「一見して危険」建物の被害認定調査結果

## 首都直下の特殊性を考慮した被災者支援システムの開発

### 非木造集合住宅を対象とした被害認定調査手法の開発

地方公共団体

第1次調査

第2次調査

被害認定調査マネジメント体制の提案

### 被災者登録システムの開発

登録項目

- 被災者登録番号(自動付与)
- 本人特定のための情報(氏名・住所・生年月日・電話番号・会社/学名)
- 連絡先(携帯電話、緊急連絡先(親戚))
- 社会サービス受益者番号・後援者番号、介護保険番号

・全国に分散した被災者への対応  
・同質のサービスとして支援策を提供

### 首都圏自治体職員による評価の検証

評価の対象

被災者生活再建支援業務全体  
個別の災害対応業務プロセスと業務手順の理解  
行政組織連携の現状と課題

実災害に対する体制・対応プロセスと具体的業務手順の理解不足  
過去の災害対応業務が首都圏においても普遍性を持つ  
住民対応業務プロセスの概観を把握するためには研究成果の有効活用

業務プロセスや課題を理解すると、具体的な計画策定や業務手順の精査を促す

二つの調査の合理的運用に向けた調査フロー

具体的調査実践技術習得を目標とした研修システム開発

# 1-b 地域・生活再建過程の最適化に関する研究

首都大学東京都市環境科学研究科 中林 Group

### 地域復興戦略

指定区域率

利用区域率

指定区域率

現在の空間利用状況-将来の可能性

地域類型変化に基づき各地域の復興戦略

各復興ニーズにおいて住民が行政に期待する役割

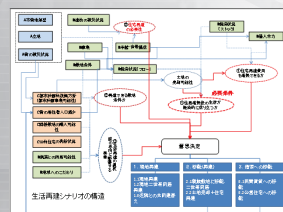
### 生活再建・住宅再建

推薦必要指数

- 公的(都市計画)事業での再建 約37万世帯
- 公営住宅での再建 約36万世帯
- 市場での取得 約106万世帯

被災者負担×公的負担

被災者が住宅再建/タワを選択可能な公的負担、被災者負担の範囲



復興まちづくり訓練  
イメージトレーニング

# 1-c 効果的な研修・訓練システムの確立

京都大学防災研究所 林 Group

首都直下地震に特有な社会的・政策的ニーズを満たす方策の検討

これらの項目が法令等で規定

組織

情報

財源

実施

権限

計画

被災者の対応した方

首都直下の対応する方

文献・資料

枠組みの動機

枠組みに対するインパクト・ストレス

災害対応に携わった方・携わっている方からの講演・インタビュー、ならびに文献・資料をもとに、首都直下地震が現行の防災政策の枠組みに対してどのようなインパクト・ストレスをもたらすのかを分析する  
ここで、枠組みに限界が来ていることの現実性を明らかにし、どのような対策を講じることが好ましいのかをアピールすることで世論の注目を喚起する

処理モデル	入力データ1	入力データ2	出力データ(レイヤ)	利用例
XYポイント作成	緯度 経度 属性 30.1 143.21 A 31.8 143.37 B 30.4 149.63 C	-		震源位置
アドレスマッチング	住所 属性 〇〇市〇〇町1丁目 A 〇〇市〇〇町2丁目 B 〇〇市〇〇町3丁目 C	住所DB		道路等の被害箇所や避難所の位置作成
ポリゴン集計				建物被害の集計
属性結合	属性キー 属性 1 A 2 B 3 C			避難所の避難者数推移、上水道の復旧状況の推移

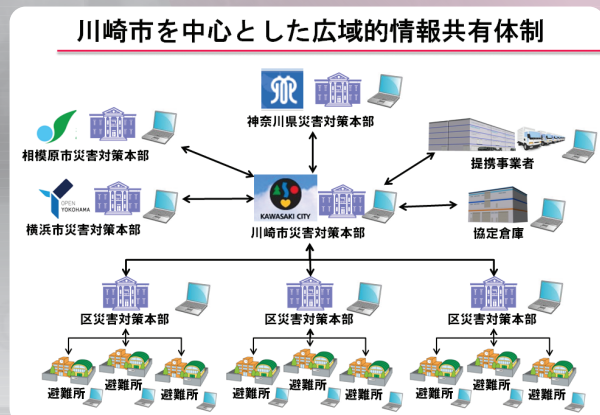
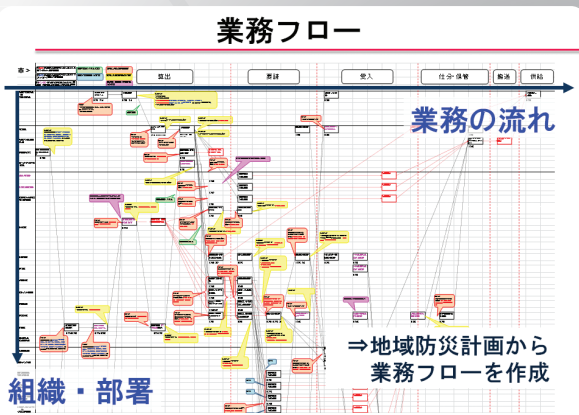
# 首都直下地震 防災・減災特別プロジェクト

—3. 広域的危機管理・減災体制の構築に関する研究—

<http://www.drs.dpri.kyoto-u.ac.jp/medr/>

## 2 広域的情報共有と応援体制の確立

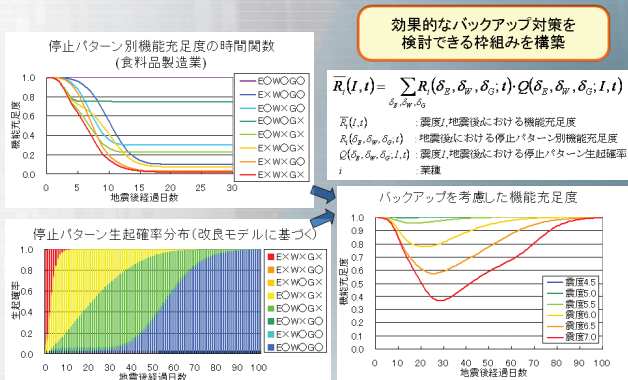
東京大学生産技術研究所 目黒 Group



## 3 相互に関連したライフラインの復旧最適化に関する研究

千葉大学大学院工学研究科 山崎 Group

バックアップを考慮した機能充足度



ライフラインシステムの地震後復旧活動の相互関連に関わる構造モデル化

